



株式会社ハイクレー



- 浄水発生土を活用した持続可能な地産地消型リサイクル事業の普及
- 事業そのものがSDGsの取り組みであると捉え、新たな事業にも挑戦
- 全社員への教育・人材育成（外部セミナー参加・官民連携プラットフォーム活用等）

スポーツグラウンド用土壌のパイオニア
土壌改良材開発のハイクレー



SDGsの取組のきっかけ

- ✓ 『事業そのものがSDGsの取り組みでないか』と専門家からアドバイスを受けて、SDGsについて学び始めたこと。
- ✓ 地球環境への貢献に加えて、事業や従業員への貢献も期待し、SDGsの考え方*を人材育成の場で活用し始めたこと。
（*バックキャスティング & アウトサイド・イン等の考え方）

■ 会社概要

- ✓ 住所：埼玉県久喜市南5-4-41
- ✓ 事業概要：浄水発生土を利用した不溶性土壌改良材を用いた工事及び販売、他
- ✓ 従業員数：25人
- ✓ 代表者：代表取締役 大川 称三
URL：<http://highclay.co.jp/>

SDGsを取り入れたメリット

【顧客提案の推進】

- ✓ SDGsの考え方を取り入れることで、下記のような顧客提案を積極的に推進。

【廃棄物・3Rの推進】

- ✓ 自社開発の土壌改良材の活用による提案
⇒ 工事中の既存土の廃棄物の減量化
⇒ 新土（天然由来）の省資源化

【省エネ化】

- ✓ 運搬車両等の削減
- ✓ 輸送土量等の削減
⇒ 省エネ・CO₂排出削減の提案へ

浄水発生土を使用した土壌改良材「ソイレックス」



SDGsを定着させるための施策

【新規事業の創出】

- ✓ 社員やパートナー先からのアイデア・提案等を積極的に募集、採用を通じて継続的な新規事業を創出。



【人材教育・プラットフォーム活用】

- ✓ 全社員への環境SDGs教育・啓蒙活動
- ✓ 新製品等を活用した地域・社会貢献活動
- ✓ グリーンインフラ官民連携プラットフォーム等